

「復元設定」は転ばぬ先の杖！ 自動設定で

『復元ポイント』作ってますか！ 『復元ポイント』はパソコンに異常が生じた時に一番最初に行う『治療』の入口です。Windows に以前から標準装備されている機能ですが、自分で復元ポイント作っておかないと『復元ポイントなし→復元出来ない』と云うことになります。

『復元』はシステムファイルや設定を『正常に動作していた状態に戻す』機能で、全ての問題を解決出来るものではありませんが、パソコンの動きが重い・今まで出ていたボタンが消えている・アプリのインストール後に表示が変わったなどの時に使用するものです。

自動設定を選んでおけば 頻繁に行われる Windows の Update 時に復元ポイントが自動で作成されますので個人で触る必要なく安心です。 作成データに影響はありませんが、復元ポイント（時期）以降のインストールアプリやアップデートは削除になります。

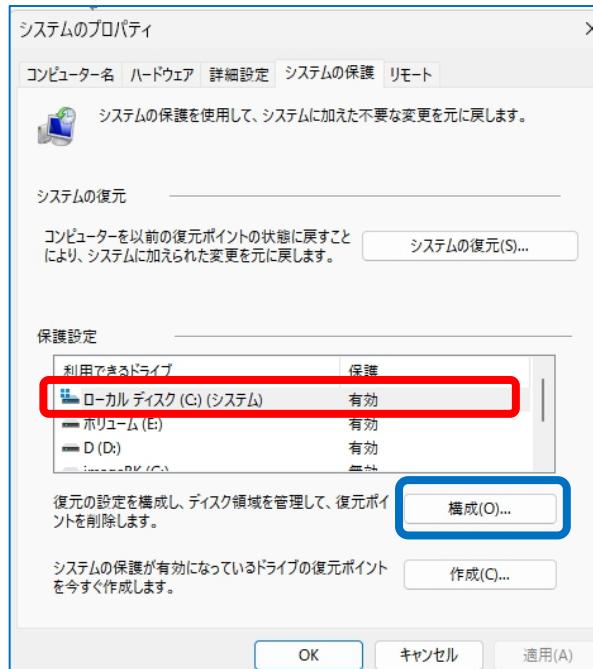
操作手順

1. スタート→設定→システム→バージョン情報（一番下）
2. バージョン情報の中程の『システムの保護』をクリック



3. 「システムのプロパティ」画面が表示される

「ローカルディスク(C) (システム)」が『有効』になっていれば復元ポイント設定がONになっています→有効になっている人は5項の確認へ



4. 設定手順

- ①ローカルディスクCを選択して「構成(O)」をクリック（上図青囲み）
- ②「システム保護対象 ローカル ディスク (C) が表示される

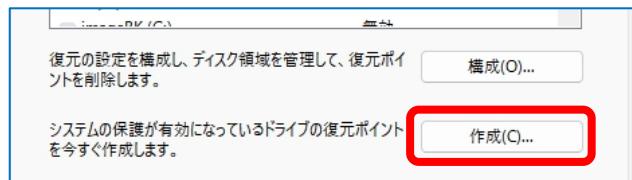
- ③「システムの保護を有効にする」にチェックを入れる

- ④「ディスク領域の使用量」を調整する
数値はCドライブの容量次第ですが、ミニマム10GBは欲しいところです

- ⑤OK



⑥システムのプロパティ画面の「システム保護が有効になっているドライブの復元ポイントを今すぐ作成します」の『作成』をクリック



⑦「システムの保護」画面表

示

任意の名前入力

作成クリック

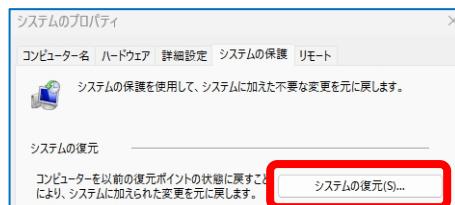


⑧閉じる

⑨システムのプロパティ画面 OK

5. 復元ポイントの確認

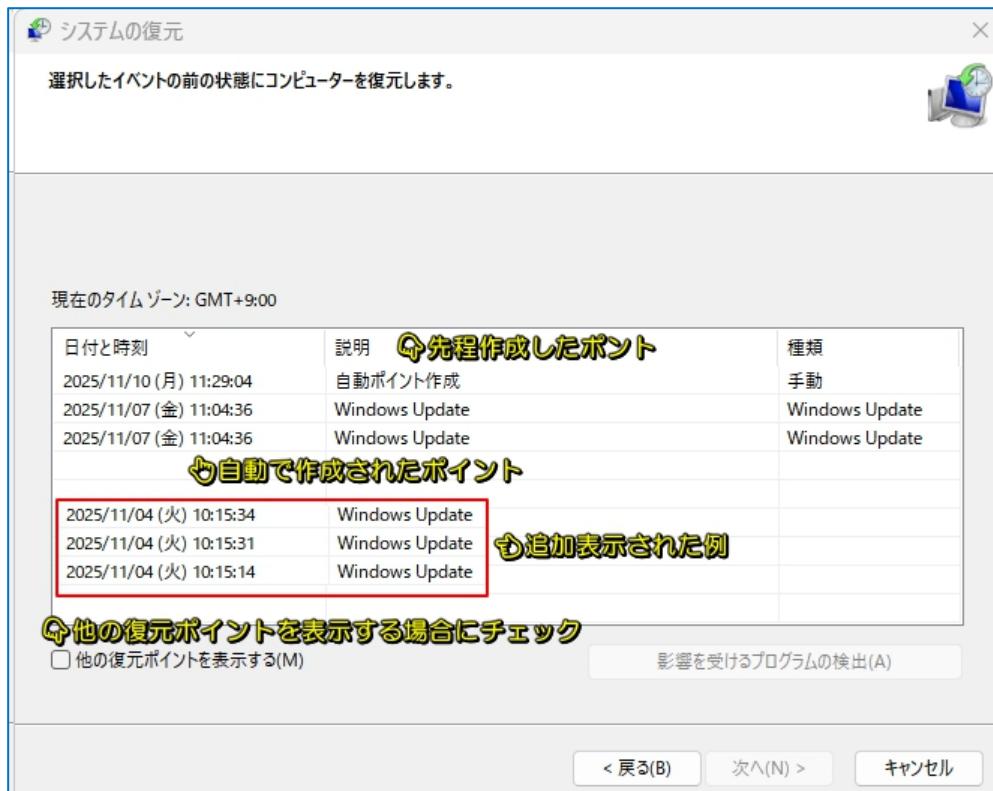
①システムのプロパティの「システムの復元」をクリック



②次へ



③システムの復元ポイント表示



④表示されている画面を閉じる

* * 復元の利用方法は「情報の部屋」の「パソコン不調2：極端に遅くなった場合は 復元・リフレッシュ・初期化が確実」に記載しています！